

## レオス・キャピタルワークス、 垣内俊哉氏、高見秀三氏 新役員就任のお知らせ

2022年6月27日

レオス・キャピタルワークス株式会社

投資信託「ひふみ」シリーズを運用するレオス・キャピタルワークス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：藤野 英人、以下当社）は、本日開催の定時株主総会において、新たに**社外取締役**として**垣内 俊哉（かきうちとしや）氏**が、**社外監査役・常勤監査役**として**高見 秀三（たかみしゅうぞう）氏**が選任され、同日付けで就任したことをお知らせいたします。

垣内氏は株式会社ミライロを起業し、国籍、性別、年齢、身体特性や能力などの多様性を力に変え、「ユニバーサルデザイン」の普及に尽力されております。また、高見氏は長年金融機関で営業、運用、監査と幅広く活躍され、豊富な経験を積まれています。お二人の知見と経験を活かしていただくことは、ダイバーシティ推進とコーポレート・ガバナンス体制の強化、そして当社が目指すファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂、全ての人々が金融の恩恵を受けられる社会）の実現に向けて非常に重要であると考えております。日本経済を取り巻く環境が変化を続けている中、新たな経営体制のもと、変化をとらえ、中長期的な企業価値のさらなる向上を図ってまいります。今後とも変わらぬご愛顧の程、よろしくお願いいたします。



新任 社外取締役  
垣内 俊哉 氏

### 【略歴】

2010年、立命館大学経営学部在学中に株式会社ミライロを設立。障害者や高齢者のサポート方法などを伝える「ユニバーサルマナー検定」や、障害者手帳をデジタル化した「ミライロID」など、障害者をはじめ多様な方々に向けたサービスを展開している。

2016年、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アドバイザー就任。

2022年、財界「経営者賞」を受賞。国家戦略特別区域諮問会議へ参画し、ユニバーサルデザインの推進に関する提言を行う。

2022年6月、レオス・キャピタルワークス株式会社社外取締役に就任。



新任 社外監査役・常勤監査役

高見 秀三 氏

【略歴】

1983年大和証券株式会社入社後、2000年富山支店長、新潟支店長を経験し2007年から債券部長、2010年岡山支店長を経て2012年参与法人営業担当、金融市場副担当、2014年より同社常勤監査役に就任。

2020年より大和アセットマネジメント株式会社常勤監査役、大和インベスター・リレーション株式会社とリテラ・クレア証券株式会社非常勤監査役。

2022年6月、レオス・キャピタルワークス株式会社社外監査役・常勤監査役に就任。

■レオス・キャピタルワークス株式会社について■

レオス・キャピタルワークスは「資本市場を通じて社会に貢献します」という経営理念のもとに2003年に創業した資産運用会社です。ひふみ投信を始めとして運用・販売する投資信託「ひふみ」シリーズは、守りながらふやす運用でお客様の長期にわたる資産形成を応援します。また投資顧問業においては、国内外の企業年金基金、機関投資家のお客様の資産を受託、運用しております。 <https://www.rheos.jp/>